

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

公表 令和元年7月1日

事業所名 さんぼみち

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	1	(どちらともいえない) 広いスペースにロッカーを置いて仕切りを作っている。	十分なスペースを確保していると思います。
	② 職員の配置数は適切である	4	4		(どちらともいえない) 児の様子や人数によるところが大きい。	手厚く配置しておりますが、それでも目が行き届かない部分も有りますので、スタッフ間の連携を強化していきます。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、発達の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2		(はい) 換気消毒につとめている。庭など児に合わせて遊具を変えている。 (どちらともいえない) 毎日の掃除で清潔を保っているが冬の時期のみ使用するじゅうたんは子どもたちが下に潜り込むことが不衛生。潜り込まないように別の遊びに誘いかけてはいる。	冬場だけでなく、毎日換気、消毒、掃除を行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		(どちらともいえない) 毎日1回のMTでどの程度話し合い、検討しているのかな?と思う。	定員が増え、クラスが増えたことにより、全体で話し合う機会は減っているが、月2回のMTでできる限り補っています。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3	(どちらともいえない) 保護者の意向等、全体把握はしきれていない時がある。スタッフ間の情報共有の場を確実につくっていく。	保護者の意向を確認する機会を増やしていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	1	できるだけ早くまとめ公表していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		検討中です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			(はい) 法人内外の研修は多岐に渡っていると思う。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	(はい) MTや申し送り、ふり返りの時間を使って行っている。	複数のスタッフで考えている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3	(どちらともいえない) 十分できていない時もあるのでスタッフ間で声を掛け合って検討するようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	1	(はい) 集団ではできない部分を個別に対応している。	計画も実際の支援も子どもの状況に応じて行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		(はい) 児の動きなどを予想していくつか想定している。	毎日必ず行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		(はい) ふり返りとともに紙ベースとしてファイリングして、いつでも確認できるようにしている。	毎日必ず行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	(どちらともいえない) 記録をとってはいるが、日々の忙しさの中で検証改善が十分にできないこともある。意識して声を掛け合って実施していく。	検証改善に努めていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1		半年に1回必ず行っている。
関係機関や	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2		区役所の健康づくり課やルピロなど関係機関を連携している。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	2		
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	(はい) 保育所訪問だけでなく必要に応じて保護者の了承を得て連絡をとっている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	(はい) かけはしシートの利用	かけはしシートを活用して情報共有に努めています。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	(はい) 療育検討会、公開保育の参加	連携しています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会がある	4	1	3	直接の交流の機会はない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	2	

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	(はい) 送迎時、連絡帳にて伝えられている。 (どちらともいえない) ひんばんに伝え合えない保護者もいる。必要に応じて電話連絡を共通理解できるように努力している。	できるだけ保護者に日々の様子を伝えるようにしているが、伝えきれていないところもあるので、できるだけ丁寧にお話をしていきたい。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7	1		
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1		半年に1回行っていません。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	2	(どちらともいえない) 事業所主導での親の会を行っている。 (どちらともいえない) 自分自身はその場には参加したことがないので参加する場を今後設けていただくか、内容把握だけでもできるようスタッフ間で情報共有できるとよい。	親の会に参加できるスタッフが限られているので、今後スタッフの参加の仕方も検討していく。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			(はい) 月、行事のおたよりなど、日1~2回発行している。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	8				
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			(はい) わかりやすいようにメモをして渡したりしている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	1	(どちらともいえない) 成人の事業を中心に地域のお祭りなどに参加。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8				保護者への周知が足りない部分がある。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		1	(どちらともいえない) アレルギーの子についての対応はしているが医師の指示書は不十分。	アレルギー対応については配慮しているが、医師の指示書までもらうかは要検討。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2			ヒヤリハットを出していても、同じようなミスが続けてしまっていることがあるので、しっかり情報共有していく。
④⑥	虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			年に1回は必ず職員会議等で周知している。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	1		身体拘束はしていない。